

平成 16 年 12 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ッ ド マ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 明
(登 録 銘 柄 ・ コ ー ド 7 5 3 5)
問 い 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 余 語 岳 仁
電 話 番 号 0 5 2 - 7 7 4 - 4 3 5 0

ＯＣＴ診断装置の臨床試験開始のお知らせ

当社は、当社米国子会社ライトラボ・イメージング社が開発した、ＯＣＴ診断装置の日本国内での臨床試験を開始いたしましたことをご知らせいたします。

当社米国子会社ライトラボ・イメージング社は、マサチューセッツ工科大学が持つＯＣＴ技術（近赤外線を用いて血管や組織の超高解像度断層画像を得る技術）に関する基本特許を、製品に応用することがきる独占的ライセンス契約を締結しており、まずは循環器分野への応用製品の開発に経営資源を集中的に投下してまいりました。

この度、ライトラボ・イメージング社が開発いたしましたＯＣＴ診断装置は、現存の検査機器と比較して、従来見ることはできなかった血管内の詳細を、高い解像度で観察することができ、より精度の高い血管内の病変診断が可能となります。

今後は、2004年12月からの約2ヶ月間の治験期間を経て、循環器分野における、世界初のＯＣＴ技術の実用化を目指します。

以 上

【ご参考】

OCT技術 (Optical Coherence Tomography) の意義

(1) OCT技術とは

OCT技術は、約 1,300 ナノメートルの近赤外線を用いて血管や組織の断層画像を得る新しい次元の超高解像度画像技術です。

OCT技術は、マサチューセッツ工科大学が基本特許を持っており、多分野に応用するライセンス契約を、ライトラボ・イメージング社が1998年に締結し、“顕微鏡を体内に”を合言葉に商品化の研究開発を続けてまいりました。

近年の技術革新による光ファイバー微小化技術に伴い、0.006インチの微小光学レンズの開発、および光ファイバー使用のカテーテルの開発に成功しました。



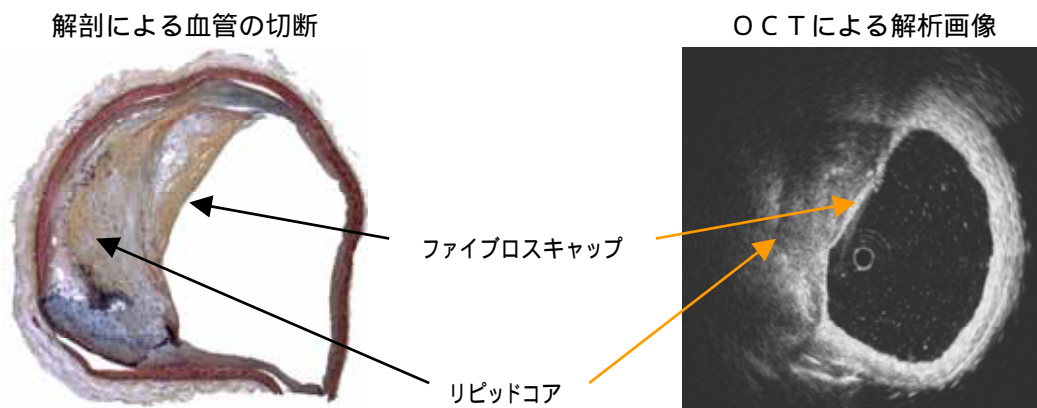
(2) OCT診断装置の特徴

高い解像度を持つOCT技術では、従来では認識できなかった、血管内の詳細を高い解像度で観察することができます。

現存の検査機器での検出は困難とされているバルネラブルプラーク（破裂しやすい病変）は、その脆弱さから、さまざまな内因、外因で破綻し、急性心筋梗塞や急性冠症候群などを引き起こす非常に重篤な病態です。以前から、その検出に大きな関心が寄せられてきています。

このバルネラブルプラークは、主にリピッドコア/ネクロティックコア（液状の内容物）の内腔側に 65μメートル未満の薄いファイブロスキャップ（薄い皮膜）が覆っているものとされており、この薄いファイブロスキャップの検出が今までの検査機器では困難でしたが、OCT診断装置により、検出できる可能性があります。

【バルネラブルプラークの解析画像】



(参考:カエルの血管の画像)

今までの検査機器では検出が不可能であったファイブロスキャップ（薄い皮膜）が、OCT診断装置の超高解像度により鮮明に表示されているのが見て取れます。